

HEATTECHFAN

〈仕様変更について〉

2025.1

株式会社 駒匠

HEATTECHFAN仕様変更について

HEATTECHFANにつきまして、2025年1月お見積り分より仕様変更後のお見積りとさせていただきます。

主な仕様変更箇所は下記の通りです。

1. 屋内カバー仕様変更

- ① ホワイト・ブラック・グレーの3種類（ブラック・グレーの追加）

2. 屋内カバーの仕様変更による換気風量の増加

- ① 丸型フード

最大 $37.1\text{m}^3/\text{h} \Rightarrow 42.1\text{m}^3/\text{h}$ （約13.5%増加）

- ② 角型フード

最大 $37.4\text{m}^3/\text{h} \Rightarrow 42.6\text{m}^3/\text{h}$ （約13.9%増加）

3. フィルターサイズ変更

- ① $120\Phi \Rightarrow 105\Phi$

HEATTECHFANの仕様変更後の主な仕様

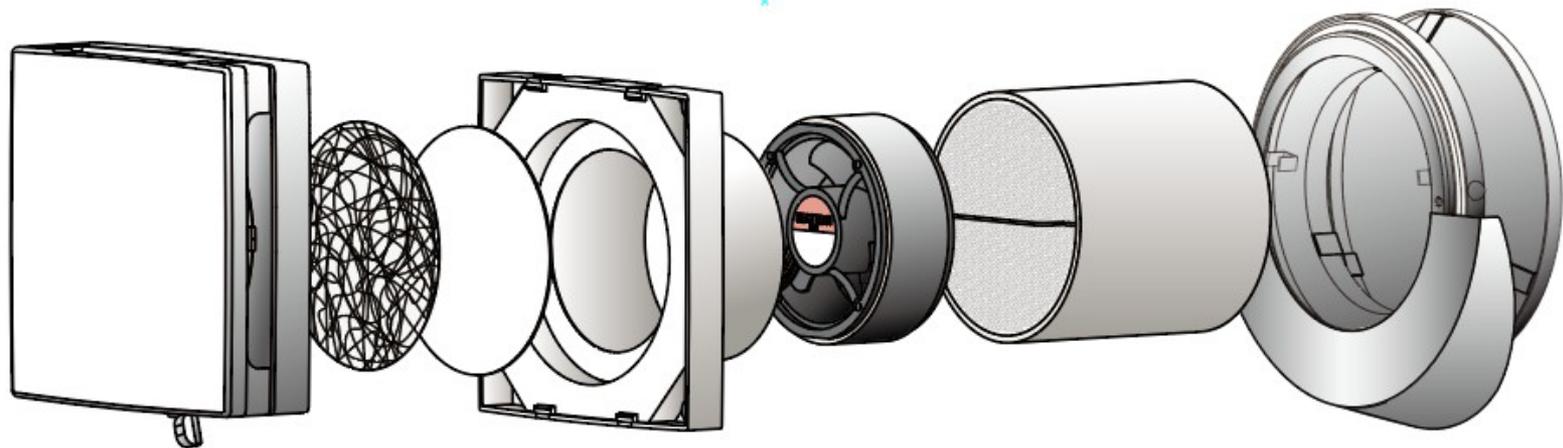
HEATTECHFANは、『高性能とデザインの両立』をコンセプトに開発された第一種ダクトレス熱交換換気扇で、同時に施工の容易さも実現しています。

日本の木造住宅の標準的な壁厚（約160mm）に対応するために、特殊な成分を配合した高性能熱交換器（特殊セラミック）と、コンパクトで高性能なりバーシブルフローファンを開発したことで、高効率な熱交換率（温度交換率）を可能にしました。

屋外フードを100Φにすることで、FD（ファイヤダンパー）を設置する必要がなくなり、屋内カバーは様々な内装デザインに対応できるようホワイト・ブラック・グレーの3色を用意しました。

屋外フードは風速30m以上の暴風雨でも風雨が逆流しない特殊形状のものを採用すると同時に、沿岸地域での塩害にも耐える耐重塩害塗装を標準としました。

HEATTECHFAN仕様変更（屋内カバー）



屋内カバーが3色に



ホワイト

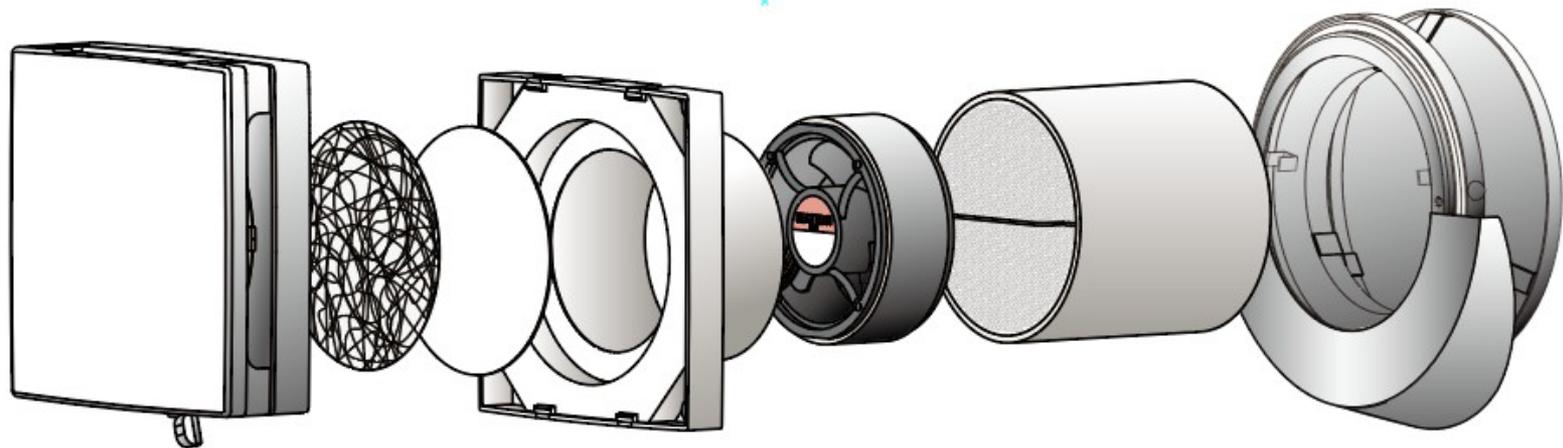


ブラック

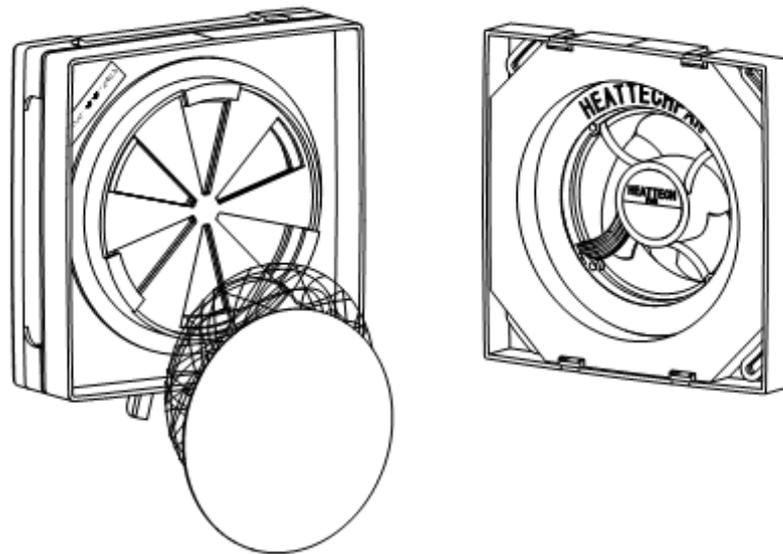


グレー

HEATTECHFAN仕様変更（フィルターサイズ）



フィルターサイズが105Φになり設置位置が変更

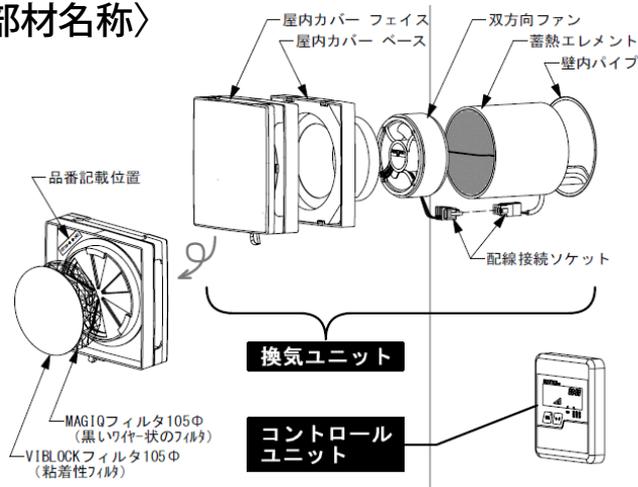


HEATTECHFAN仕様変更（フィルター交換方法が変わります）

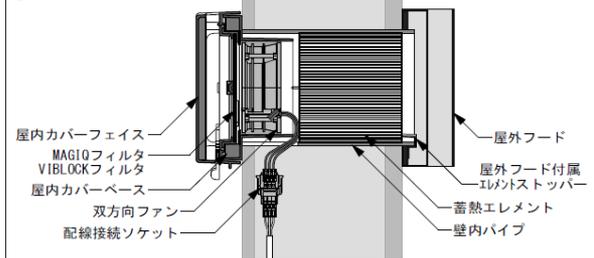
旧型 ⇒ 120Φ

新型 ⇒ 105Φ

〈各部材名称〉



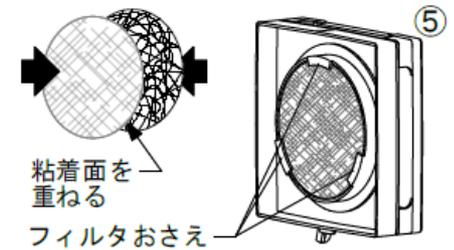
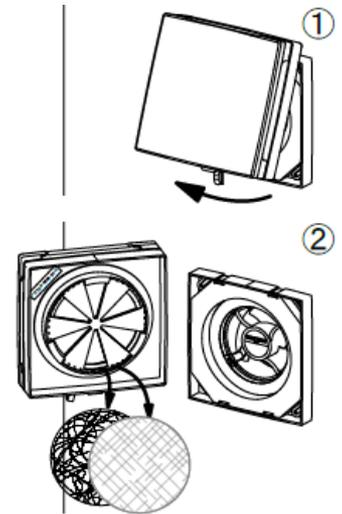
換気ユニット収まり図



〈フィルター交換方法〉

各換気ユニットのフィルタを交換します。

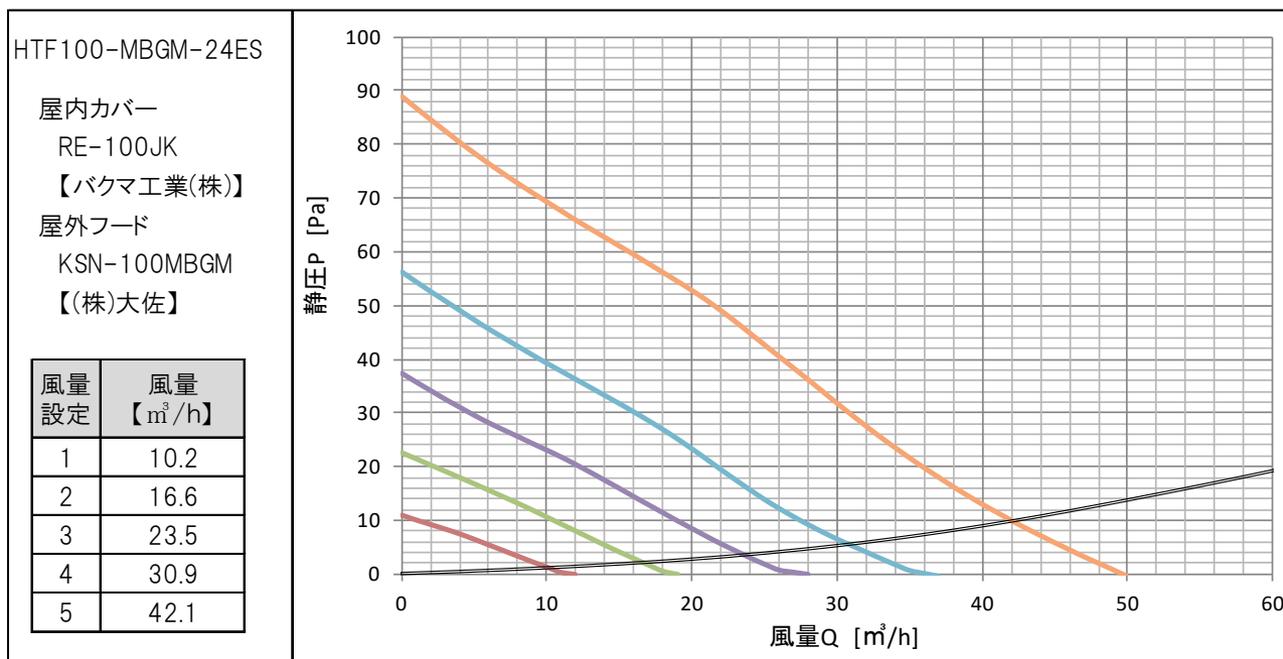
- ① 屋内カバーのフェイスを外します。下部の突起に手をかけ、手前に引くようにして外してください。
- ② フィルタを取り出してください。購入時は、下記2枚のフィルタが重ねてセットされています。
 - ・粘着性フィルタ（VIBLOCKフィルタ）
 - ・黒いワイヤー状フィルタ（MAGIQフィルタ）
 汚れや劣化を確認し、お手入れ・交換を行ってください。
- ③ 黒いワイヤー状のフィルタは、水洗いして繰り返しご使用いただけます。水洗いをした後は水けをきり、よく乾かしてからご使用ください。
- ④ 粘着性フィルタは再利用が出来ません。新しいものと交換してください。
【推奨フィルタ：VIBLOCK FILTER】
- ⑤ 再度セットする際は、粘着性フィルタの粘着面をワイヤー状フィルタに貼り付けるように重ね、ワイヤー状フィルタが屋内側になるように設置します。フェイス裏側3カ所のフィルタおさえに収めるように設置してください。



1回分の交換用VIBLOCKフィルタが
付属しています。
お買い求めの際は、下記サイトにて
「HEATTECH FAN専用
VIBLOCKフィルタ 105Φ」
をお買い求めください。

HEATTECHFAN仕様変更（換気風量が増加します）

〈新型屋内カバー＋丸型フード〉
37.1m³ ⇒ 42.1m³
(約13.5%増加)



HEATTECHFAN仕様変更（換気風量が増加します）

〈新型屋内カバー＋角型フード〉
37.4m³ ⇒ 42.6m³
(約13.9%増加)

